

東京を代表する大型デザインイベントが
「デザインの裏」をキーワードに2年ぶりに開催決定！
「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021」

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

2021年10月15日（金）～11月3日（水・祝）開催

東京ミッドタウン（港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社）は2021年10月15日（金）から11月3日（水・祝）までの期間、秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021（東京ミッドタウン デザインタッチ）」を開催いたします。本イベントは、“デザインを五感で楽しむ”をコンセプトに14回目の開催を迎えます。

今回のキーワードは「デザインの裏 -Behind the Scenes of Design-」。クリエイターに noiz を迎え、クリエイターの視点を通じた「デザインの裏」を紐解くほか、大日本タイポ組合や YKK AP 株式会社による展示など、魅力あるコンテンツを展開します。また、本イベントのキービジュアルは JAGDA 新人賞(2021)を受賞した川尻竜一氏がデザインします。

【2021年キーワード】

“デザインの裏 -Behind the Scenes of Design- “

だれもが正解のない問題に向き合わなければならない日々が続く中、わたしたちは、デザインからどんなヒントを得ることができるでしょうか。そのヒントは、完成された商品やサービスのデザイン以上に、完成形に至るまでのデザイナーの思考や制作プロセスに潜んでいるのではないか…。2年ぶりの開催となる今年は、「デザインの裏」をキーワードにデザイナーの視点を読み解きながら、さまざまなコンテンツを展開していきます。

参加クリエイター・企業

◆ noiz

ミッドタウン・ガーデンの広大な芝生広場にカラフルなインスタレーションが登場

【noiz / 建築・デザイン事務所（写真左から豊田啓介（とよだけいすけ）、蔡佳萱（Tsai, Jia-Shuan）、酒井康介（さかい こうすけ）】2007年に豊田啓介と蔡佳萱のパートナーシップとして設立。2016年に酒井康介を加えた3名パートナー体制で、東京と台北の二拠点からコンピューテーショナルな手法を駆使し、建築を軸にインスタレーションから都市まで幅広いジャンルで国際的に活動する建築・デザイン事務所。最新のデジタル技術を駆使した各種デザインや製作、システムの実装から教育、各種リサーチ & コンサルティング活動も積極的に展開する。

NOIZ



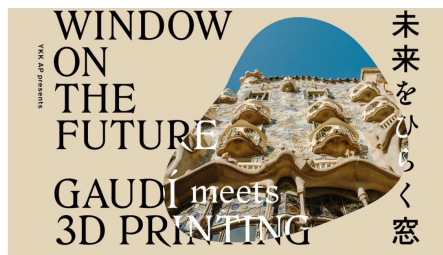
◆ 大日本タイポ組合

文字のカタチと意味をテーマに、大人から子どもまで気軽にデザインに触れられる作品が登場

【大日本タイポ組合】秀親と塚田哲也の2人で1993年に結成。日本語やアルファベットなどの文字を解体し、組合せ、再構築することによって、新しい文字の概念を探る実験的タイポグラフィ集団。ロンドン、東京での個展、バルセロナや東京での企画展に参加。2003年には、バルセロナ（スペイン）で設立10周年記念の展示会を開催し、同時に作品集「TYPE CARD PLAY BOOK」も出版。2020年「もじかけえほん かな？」（偕成社）を出版。



◆ YKK AP 株式会社による展示も登場！ <未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing>



世界的に著名な建築家アントニ・ガウディの窓に着想を得て、自然環境と呼応する様々な機能や造形を持つ、3Dプリンタでつくる新しい窓のプロトタイプデザインを展示します。本展は「TOKYO MIDTOWN AWARD」の過去受賞者でもある鈴木啓太氏がクリエイティブディレクターを務めます。

<未来をひらく窓—Gaudí Meets 3D Printing> 詳細はこちら

https://www.ykkap.co.jp/company/info/news/20210701_1



【鈴木啓太】プロダクトデザイナー、クリエイティブディレクター
1982年生まれ、多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒業。PRODUCT DESIGN CENTER 代表。古美術収集家の祖父の影響で、幼少より人が織りなす文化や歴史に興味を持つ。森林活用から都市環境、伝統工芸から3Dプリンティングなどのクリエイティブ・マニュファクチャリングまで、幅広い分野に精通。美意識と機能性を融合させたデザインで、国内外でプランニングからエンジニアリングまでを手掛ける。2008年「TOKYO MIDTOWN AWARD」受賞、2019年「相模鉄道20000系」が「ローレル賞2019」受賞、2020年「ELLE DECOR Young Japanese Design Talent」受賞等。2015-2017年グッドデザイン賞 最年少審査委員。

キービジュアル

◆ 川尻竜一



「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021」のキービジュアルには JAGDA 新人賞(2021)受賞クリエイター川尻竜一氏を起用

【川尻竜一】グラフィックデザイナー。1982年北海道留萌生まれ。札幌在住。2010年よりデザ院株式会社所属。広告などのアートディレクションやグラフィックデザインの仕事を手がけるほか、自身のグラフィック作品も制作。JAGDA 新人賞(2021)、札幌 ADC グランプリ(2019)、GRAPHIC DESIGN IN JAPAN 仲條正義 This one! 選出(2019)など。JAGDA 会員。札幌 ADC 会員。愛犬家。

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2021」開催概要

【期 間】 10月15日(金)～11月3日(水・祝)

【時 間】 11:00～21:00

【場 所】 東京ミッドタウン各所

【主 催】 東京ミッドタウン

【東京ミッドタウンの取り組み意図】

東京ミッドタウンは2007年の開業当時から、『“JAPAN VALUE”を世界に発信し続ける街』というビジョンを掲げています。ビジョンの根底のひとつに「CREATIVITY」があり、東京ミッドタウンへ訪れる人や働く人などに、デザインとアートを通じて独創性や知的想像力を高めてもらいたいという思いが込められています。

また、東京ミッドタウンには『サントリー美術館』や20作品のパブリックアートなど施設内で楽しめる多くの「アート」があることに加え、日本で唯一のデザイン専門施設『21_21 DESIGN SIGHT』、デザインについてプロモーション・職能・研究教育という3つの異なる役割を担う機関が連携して運営するデザインネットワークの拠点『東京ミッドタウン・デザインハブ』など「デザイン」に特化した施設も有しています。街づくりを推進する上で、イベントを通して東京ミッドタウンの取り組みを発信していこう、という思いから「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」が誕生しました。

【Tokyo Midtown DESIGN TOUCH とは】

「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトにインテリアやグラフィック、プロダクトはもちろん、ミュージック、フードなど文化を形成するもの全てを「デザイン」として捉え、それらを通して日常生活を豊かにすることを提案するイベントとして始まりました。

2017年からは、『国内外の第一線で活躍するデザイナーや国内外で注目されるデザインが集結し、デザインの魅力や可能性を身近に体感できるデザインの祭典』をコンセプトとし、さらなる進化を続けていきます。

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH アーカイブはこちら

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/designtouch/>



▲2019年開催の様子。クリエイティブユニット「SPREAD」によるダイナミックなインスタレーションのほか、様々な企業やクリエイターがそれぞれの「デザイン」の取り組みを発信しました

- ※ 掲載情報は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ 最新の営業情報はオフィシャルサイトをご確認ください。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止および天災等の状況により予告なく営業時間の変更・休業となる場合がございます。予めご了承ください。
- ※ 東京ミッドタウンではお客様と従業員の安全・安心を第一に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでおります。詳細は以下よりご覧いただけます。

URL : <https://www.tokyo-midtown.com/jp/news/5054/>

東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと6つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。

四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。

それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■

東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com